

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日:令和7年 5 月 26 日

事業所名: よくらぶ

事業所職員及び保護者の方の御意見を踏まえ、自己評価の結果を公表します。
評価を踏まえて、事業所の運営における課題点及び改善すべき点を確認し、今後の運営に活かしていきます。

区分		チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価					評価を踏まえた 改善内容・改善目標
			はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	保護者の方のご意見	
環境・ 体制 整備	1	利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	70%	30%		1階、2階で活動を分け、スペースの確保をしている	100%				比較的にゆったりした感じはしている	
	2	職員の適切な配置	85%	15%		非常勤職員の出勤曜日を固定し、人員確保に努めている	70%			30%	1日何人の児童、職員がいるのかわからない	職員紹介や勤務の情報教諭を行う
	3	本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障がいの特性に応じた設備整備	100%			わかりやすいように写真などで示し、場所も決めている	100%					
	4	清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	100%			毎日掃除、消毒を行い、清潔管理に努めている	100%					
業務 改善	1	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	100%			朝会、夕会を行い、日々確認をしている						
	2	保護者向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意見等を把握し、業務改善につなげているか	70%	15%	15%	開所して今回が初めてのため、今後行っていきたい						
	3	この自己評価表の結果を、事情所の会報やホームページなどで公開しているか	30%	15%	30%	開所して今回が初めての実施となるためわからないと回答した職員にも周知したい						
	4	第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	15%	30%	30%	第三者による評価はまだない						
	5	職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	55%	45%		年間計画書の作成及び毎月テーマを決め、職員会等で実施していく						
適切な 支援の 提供	1	専門性のある支援が受けられているか					80%	10%		10%	職員が何人いるかが分からない	定期的に職員紹介を配布し、各職員の専門性を知っていただく
	2	適切に支援プログラムが作成、公表されているか	70%	30%		HPIにて公表しているが不十分なため、定期的に公表していく	70%			30%		今後ホームページを活用し、保護者様に周知していく
	3	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	100%			職員会や必要時に情報共有し作成している	90%	10%				今後も本人及び保護者様のニーズや課題の分析に努め、よりよい計画書の作成を心がける
	4	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけではなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか	85%	15%		職員会や必要時話し合いをしているが参加していない職員への周知も今後行っていく						
	5	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	100%			個別支援計画書を意識して支援に努めている	90%			10%		モニタリング時に支援の説明を行っていく
	6	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか	70%	15%		発達支援センターの様式を使うなどの工夫はしている						
	7	児童発達支援ガイドラインや放課後等デイサービスガイドラインに基づき、児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画において子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容を記載しているか	100%			5領域に沿った支援計画を意識し、共通認識で支援できるような具体的な文言で記載するよう努めている						
	8	チーム全体での活動プログラムの立案	55%	45%		常勤職員で主に実施しているため、今後はチーム全体で行う(立案しやすい環境づくり)						
	9	活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	85%	15%		専門職の意見など、様々な視点から考えて取り入れている	90%			10%		
	10	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を作成しているか	70%	30%		しているつもりではあるが、今後より良い計画作成に努めていく						
	11	平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	85%	15%		土曜日は社会経験プログラムを行っている						

区分		チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価					評価を踏まえた 改善内容・改善目標
			はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからな い	保護者の方のご意見	
適切な支援の提供（続き）	12	支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	70%	30%		申し送りノートの活用、非常勤職員への周知の徹底						
	13	支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	70%	30%		常勤職員だけで行っているため、非常勤職員への共有をおこなっていく						
	14	日々の支援に関しての正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	100%									
	15	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	70%	15%		職員全員に周知できるよう書面化する						
関係機関や保護者との連携	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議への参画	85%	15%		管理者・児発管が参加している						
	2	（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合） 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施										
	3	（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合） 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備										
	4	学校との情報共有（年間計画；行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	100%									
	5	児童発達支援事業所及び放課後等デイサービス事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校（小学部）等との間での支援内容等の十分な情報共有	85%	15%		日ごろから連携することで必要時に対応できるネットワーク構築に努めている						
	6	他の障害福祉サービス事業所等への円滑な移行支援のため、それまでの支援内容等についての十分な情報提供	85%	15%		今年3月卒業の児童に対して移行支援を実施。日ごろからの連携に努めている						
	7	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	30%	15%	30%	他事業所の実施する研修会や市が行う研修会に参加したが、周知されていないため、今後は情報提供や共有を行う						
	8	児童発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障がいのない子どもと活動する 機会の提供	45%	30%	15%	公共の施設を利用することで機会の確保は行っている	70%			30%		公共の施設を利用することで機会の確保は行っているが、保護者様に知られていないため、今後は伝えていく
	9	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共有理解を持っているか	100%			SNSを活用し、その日の様子はその日に保護者様と共有できるように努めている	90%	10%				
	10	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	30%	45%		管理者、児発管が対応しているため、職員全員に周知できるよう情報共有を行う	100%					
保護者への説明責任等	1	運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	100%			契約時に契約書、重要事項説明書で説明をしている	100%				契約時に説明をしていただいた	
	2	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか	85%	15%		適宜保護者様との面談や本人の意向の確認を行うように努めている						
	3	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	85%	15%		児発管が本人及び保護者様に直接説明を行っている	100%					
	4	保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	70%	15%		日頃からの情報共有を行い、変化時や必要時には早期に面談やケース会開催などの対応に努めている	100%					
	5	事業所の職員から共感的に支援をされているか					100%					

区分		チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価					評価を踏まえた 改善内容・改善目標
			はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	保護者の方のご意見	
保護者への説明責任等（続き）	6	父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	15%	45%	30%	高校受験の保護者様対象のオープンキャンパス参加イベントや夏祭り参加イベントを実施したが、職員に周知されていなかったため、今後は職員に周知していく	30%	10%	20%	40%	夏祭りイベントに参加した	年齢や悩み別の保護者参加イベントを検討している。また、今年も夏祭りは保護者参加イベントとして実施する予定
	7	子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	85%	15%			90%	10%				
	8	定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	85%	15%			70%	10%		20%		月1回月間予定表等は発行しているが、事業所からの発信内容を今後検討する
	9	個人情報の取扱いに対する十分な対応	100%			常に気を付けて支援をしている。職員間でも常に声かけをしている。	100%					
	10	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	100%			口頭だけではなく視覚的に示したり、SNSを活用している	100%					
	11	事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	30%	30%		卒業者のボランティア参加や夏祭りイベントでは近隣住民に参加していただいた						
非常時等の対応	1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	70%	30%		マニュアルの周知徹底を実施	100%					
	2	非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	60%	30%		地震、火災時の避難訓練を行ったが職員に周知されていなかったため、今後は計画書等で情報を共有し、全職員が訓練参加できるようにする	70%			30%		地震、火災時の避難訓練を行ったが保護者様に伝わっていなかったため、今後は訓練の様子をSNSを活用しお伝えする
	3	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を把握しているか	85%	15%		契約時、発達支援センターや事業所独自のサポートブックに記入をいただきファイルをしている						
	4	食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	60%	30%		契約時、発達支援センターや事業所独自のサポートブックに記入していただき、適宜、保護者様と連携し対応している。また、かかりつけ医として重要事項説明書に記入していただき、必要時には対応できるように努めている						
	5	安全管理の徹底	75%	15%		不十分なところもあるため、さらに徹底できるよう勉強会を実施し改善に努める	100%					
	6	家族等との連携を図るため、安全計画に基づく取組内容についての家族等へ周知	45%	15%		安全計画が適切に作成されているか再度検証を行い周知に努める	90%	10%				
	7	ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	100%			ヒヤリハット発生時はその日に検証し、職員会で共有している						
	8	虐待を防止するための職員研修機会の確保等の適切な対応	85%	15%		虐待防止研修は職員全員が参加。日々管理者を中心に適切な対応に努めている						
	9	やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	60%	15%		身体拘束になりうる事案を常に考えながら支援にあたり、必要時には県や市に確認しながら対応を行う						